

# TOKYO働き方改革宣言

従業員のライフワークバランスを推進することで“介護する人”のこころの豊かさがはぐくまれ、それが“介護される人”の安心へとつながっていくことを目指します。

平成29年3月31日

有限会社足立ケア21

## 目標

- 《働き方の改善》11時間の勤務間インターバルが100%維持できるようにする。一日の仕事の終了後は十分な休息をとって翌日の仕事を開始できるように終了時間と開始時間のインターバルが11時間確保されるようにします。
- 《休み方の改善》時間単位の年休に対する理解度を深め、非常勤従業員の年次有給休暇取得率をアップし25%を目指す。常勤従業員の取得率は100%程度を維持します。

## 取組内容

- 《働き方の改善》「労働時間の窓口」を設置し、勤務間インターバルの確保を労使双方で確認する。労働時間の管理体制強化の一環として、すべての連続する二日についてその間の休息時間が11時間に満たないものがある場合は「インターバル違反がありシフトを作り直して下さい」と警告するプログラムをシフト作成ソフトウェアに加えます。
- 《休み方の改善》「労働時間の窓口」の相談項目に時間単位の年休を加える。その賃金額や付与日数を計算するソフトを導入し、相談者に対し透明感のある説明、更に、スピーディーな計算ができるようにする。ソフトは、ネット上のフリーのソフトか、市販のソフトか、開発会社へ委託制作か、自社で開発か、コストと労力面で比較検討します。